

令和3年度当初予算の概要 (主要事業編)



予算の概要

【 編成方針 】

「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて

令和3年度は、現在の国内における新型コロナウイルスの感染状況からも、コロナの影響が続くことが考えられることから、引き続き市内情勢を見極め、感染防止対策を徹底した上で経済活動を回すことを基本とし、当初予算はもちろん、必要であれば補正予算でも新たな新型コロナ政策を打ち出し、積極かつ迅速に対応していくことを基本姿勢とします。

その中で、令和3年度予算の検討にあたっては、これまでの『**コロナ対策で得られた知見、経験を生かす**』ことを一つの柱に、さらに地方自治体の本務である弱い立場の方の支援や暮らしの質の充実など、飛騨市総合政策指針で掲げました『**誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち**』を実現するための取り組みをもう一つの柱とし、様々な場で寄せられた市民の皆様からのご意見や、議会でのご提案等を全てチェックし最大限取り入れ、編成を行いました。

「コロナ対策で得られた知見、経験を活かす」という点においては、生活に困難を抱える方々への支援や情報発信体制の強化、非接触型の公共サービスの導入や暮らしの質の向上のための住環境整備支援、コロナ禍での田舎回帰に注目した移住政策や様々な情報発信手段の活用など、コロナ対策で得た知見、経験を総動員し、様々な施策に取り組みます。

「誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまちの実現」という点においては、安全・安心に暮らすことができる「あんな飛騨市づくり」を最重点に位置付けつつ、コロナの打撃が大きい業種の支援とともに市内経済を回す「元気な飛騨市づくり」、そしてコロナで落ち込んでいる市民のこころを豊かにする「誇りを持てる飛騨市づくり」の観点から全方位に政策を展開してまいります。

このように、令和3年度予算は、コロナ禍にあっても、飛騨市に関わる全ての皆様が、それぞれ住み慣れた環境の中で心豊かに穏やかに、そして毎日の生活を楽しく暮らすことが出来るよう、努めてまいります。

【 重点方針 】

- **コロナ禍で得た経験・知見を活かす**
- **誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまちの実現**

目次

【 政策の柱 】

あんなきな飛騨市づくり -まちをつくる-

- ◎ 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち 4
 - 暮らしに困難を抱える方がいつまでも安心して暮らせる環境づくり
 - 暮らしを豊かにするまちづくり
 - 高齢者が安心して生き生き暮らせるまちづくり
- ◎ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち 8
 - 楽しく健康づくり・体力づくりができる環境づくり
 - 仕事や役割の創出による誰もが活躍できる環境づくり
- ◎ お互いを家族のように思い、支えあえるまち 9
 - コロナ禍における支え合い体制づくり
 - 安心して子育てできる環境づくり

元気な飛騨市づくり -しごとを守る-

- ◎ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち 11
 - 広葉樹の森が生み出す豊かな水が繋ぐ農林畜産物の振興
 - 人や暮らしで“魅せる”観光地づくり
- ◎ 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち 14
 - 地域資源を活かした産業の確立
 - コロナ禍における事業者の需要拡大の推進
 - コロナで得た知見を活かした経営体制の強化

誇りの持てる飛騨市づくり -ひとを伸ばす-

- ◎ 一人ひとりの頑張りを応援し互いに尊敬しあえるまち 16
 - 地域経営の視点を入れたファンづくりの推進
 - 学ぶ楽しさに溢れたまちづくり
- ◎ 子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち 17
 - コロナ禍に対応した教育環境の強化
- ◎ 豊かな環境と個性ある地域資源を大切に誇る誇り高いまち 18
 - 文化・歴史資源等をまちづくりに繋げる仕組みづくり
 - 豊かな自然と水を守り後世に引き継ぐ仕組みづくり

【 資料説明 】

- 新規** 新年度から新たにスタートする事業
- 拡充** 今年度までの事業内容を拡張・充実させた事業
- 継続** 今年度までの事業内容を引き続き継続させる事業

事業の主な概要

予算額

新規 多重債務にかかる生計見直しトータルサポート体制の構築

金融機関、社会福祉協議会との連携により、市が債務保証支援を行うことで、多重債務に陥っている市民の生計見直しを図ります。

2,500 千円
地域包括ケア課
(概要書8P)

事業の内容

《別冊》事業別説明資料の掲載ページ

令和3年度予算 主要事業の概要

あんき

あんきな飛騨市づくり - まちをつくる -

誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち

暮らしに困難を抱える方がいつまでも安心して暮らせる環境づくり

コロナ禍における生活に困難を抱える方や、障がいがあり日常生活に困り感がある方など、全ての方が誰一人取り残されずいつまでも安心して暮らせるよう、お一人おひとりの心理的、経済的な不安に寄り添い支援することができる体制を整備します。

暮らしに困難を抱える方へのトータルサポート体制の強化

新規 多重債務にかかる生計見直しトータルサポート体制の構築

金融機関、社会福祉協議会との連携により、市が債務保証への支援を行うことで、多重債務に陥っている市民の生計見直しを図ります。

2,500 千円
地域包括ケア課
(概要書8P)

新規 小さな子を持つ保護者を対象とした金融教育の実施

金融機関と連携し、保育園や小学校の入園入学のタイミングに合わせて保護者に対する将来の安定した生計運営と多重債務防止のための啓発教育を実施します。

0 千円
総務課
(概要書8P)

拡充 暮らしに困難を抱える方を支える相談支援員の増員

就労準備支援や社会参加訓練支援といった現行の支援制度を有効に活用し、迅速できめ細やかな対応を行うため、相談支援員を1名増員します。

11,208 千円
地域包括ケア課
(概要書9P)

新規 法人による成年後見の受任体制の強化

市社会福祉協議会における法人後見の受任が円滑にできるよう人員体制を強化し、市内における成年後見制度の利用の推進を図ります。

2,600 千円
地域包括ケア課
(概要書10P)

新規 ひとり親世帯へのごみ袋の支援

18歳までの子どもを養育しているひとり親世帯に対し、経済的支援と児童扶養手当現況届等の提出促進のため、ごみ袋一式（可燃用・プラ等）を配布します。

(774 千円)
環境課
(概要書11P)
(予算額は「子育て・介護を行う世帯等に対するごみ袋の支援事業」の総額です)

継続 ひとり親家庭への住宅支援

市が登録した民間賃貸住宅における家賃補助及び中堅所得者向け市営住宅の家賃軽減により、ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ります。

2,400 千円
都市整備課
(概要書12P)

コロナ禍における“こころの健康づくり”の推進

拡充 精神保健福祉士との連携による相談体制の強化

ハートピア古川に「こころの健康相談窓口」を開設するとともに、精神保健福祉士による「こころの相談室」のフォロー体制強化のため精神科病院との連携を図ります。

128 千円
市民保健課
(概要書13P)

新規 こころの健康づくり講演会の開催

コロナ禍におけるメンタルヘルスの一環として、人権侵害の専門家を招き、市民を対象とした誹謗中傷に関する講演会を開催します。

349 千円
市民保健課
(概要書13P)

拡充 民間事業所でのゲートキーパー等の人材育成

市民と接する機会の多い金融機関等を対象に、自殺を防ぐ「ゲートキーパー」の育成研修を実施するとともに、高校やイベント会場等における意識啓発を行います。

307 千円
市民保健課
(概要書13P)



障がいのある方が安心して暮らすことのできるまちづくり

多機能型障がい者支援センターの開設

神岡町山田地内に、障がいをお持ちの方が身体機能の向上や就労に関する知識・能力を習得されることにより自立を目指し、社会への参加を促進することを目的とした施設を整備しました。

【多機能障がい者支援センターの概要】

構造：鉄骨造 平屋建て
延べ床面積：702.09㎡
完成内覧会：令和3年3月7日（日）10時～15時



新規 障がい者全般に対応するワンストップ相談窓口の開設	
発達支援センターを拡大した「地域生活安心支援センター」を設置し、大人を含む発達支援や24時間の緊急対応、専門職による相談を行います。	7,722 千円 障がい福祉課 (概要書14P)

新規 障がい者グループホーム整備運営に向けた事前準備	
旧和光園を活用し、障がいのある方が支援者亡き後も安心して暮らせる施設として運営するため、運営予定者の知識習得の支援や設計の一部修正を行います。	3,896 千円 障がい福祉課 (概要書15P)

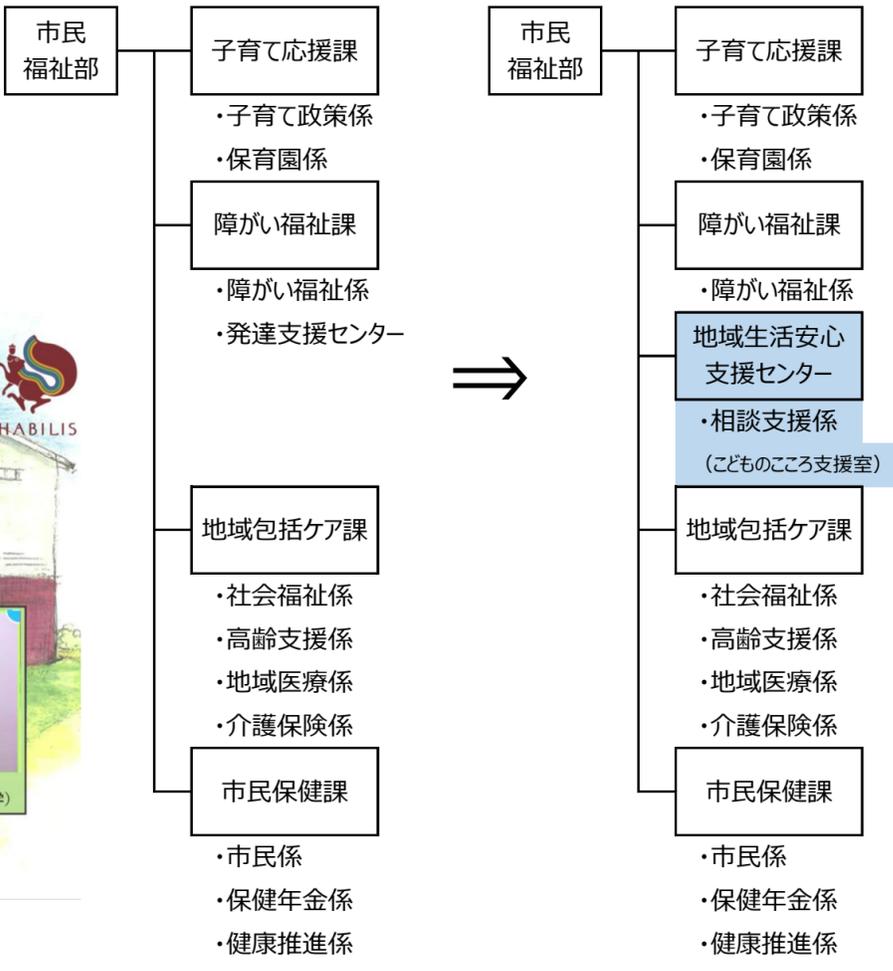
新規 最新の療育モデルを学べる全国フォーラムの開催	
飛騨市を舞台に毎年最新の療育に関する知見を全国様々な方が発表することで、新しい療育のモデルを飛騨市から日本全国へ発信するフォーラムを開催します。	700 千円 障がい福祉課 (概要書16P)

新規 飛騨市図書館のソフト面でのバリアフリー化	
視覚障がいがある方に対応した録音図書の貸出や拡大読書器・活字読上げ装置の設置を行うとともに、来館が困難な方に市が送料を負担し郵送で貸出を行います。	800 千円 文化振興課 (概要書17P)

拡充 障がいをテーマとしたオンライン市民講座の開催	
「障がい理解」をテーマとした連続講座を年3回開催し、オフラインとオンラインの併用により、障がい等で会場に來られない方々にも研修の機会を提供します。	252 千円 障がい福祉課 (概要書18P)

(組織の見直し) (見直し前) (見直し後)

組織 市民福祉部内に「地域生活安心支援センター」を新設	
「発達支援センター」の持つ障がい児支援に成人も加え、生活に支障がある全ての方に対応する「地域生活安心支援センター」を市民福祉部内に新設します。	市民福祉部



すべての不器用な子どもに届け 作業療法士のテクニック CO-OP (コアップ) アプローチ!

飛騨市放課後等デイサービス きゃっち

— オンライン療育の取り組み —

【自宅環境】

作業療法士 (Zoom) → 子ども (自宅環境) → 保護者 (Zoom) → 動画配信 (YouTube)

CO-OP

塩津 裕康 作業療法士 塩津 裕康 博士 (リハビリテーション学)

暮らしを豊かにするまちづくり

長く続く「コロナと共に生きる生活」により落ち込んだ市民の暮らしを向上させ、希望を持って前に進むことができるよう、コロナ禍で得た経験・知見を活かした新たな時代に対応するサービスの導入を図ることで、暮らしを豊かにするまちづくりを推進します。

暮らしの質の向上

拡充 住宅リフォームにかかる支援制度の拡大	
年間を通じて利用いただけるよう受付期間を年2回に分けるとともに、100万円を超えるリフォームの補助上限を最大50万円に引上げ大きな工事の支援を拡充します。	60,000 千円 都市整備課 (概要書19P)

拡充 住宅新築・購入にかかる支援制度の拡大	
定住促進のための住宅取得支援制度の対象に土地代を追加し、市内業者加算を30万円に、移住世帯の住宅改修の上限額を150万円に引上げます。	40,000 千円 都市整備課 (概要書20P)

新規 市民の安全や暮らしを支えるアプリ導入に向けた調査研究	
コロナ対策や災害時における迅速・確実な情報伝達と、よりよい生活をサポートするための市独自アプリの調査研究を行い、令和4年度の導入を目指します。	200 千円 秘書広報課 (概要書21P)

新規 飛騨市CATVの民間譲渡によるネットインフラの環境向上	
民間通信会社との基本協定に基づき、幹線配線工事と加入者の移管にかかる手続きを行い、令和4年度の完全民営化による市民サービスの向上を目指します。	198,000 千円 管財課 (概要書22P)

拡充 公共施設における公衆無線LANの整備拡大

市民利用の多いハートピア古川、本庁舎1階、河合振興事務所、宮川振興事務所の4箇所にWi-Fiアクセスポイントを設置します。

530 千円
管財課
(概要書23P)

新規 土地改良や林道整備における受益者分担金の軽減

市が行う土地改良事業、林道事業等における受益者分担金を軽減します。(現行:20~30% → 改正:0~15%)

(制度改正)
建設課
(概要書24P)

コロナ時代に対応した公共サービスづくり

新規 公共施設予約管理システムの導入

コロナ禍における接触回避のため、スポーツ施設をメインとしてネット予約システムを導入するとともに、予約集中時の自動抽選を同時に行うことで公平性を確保します。

9,119 千円
スポーツ振興課
(概要書25P)

新規 飛騨市図書館における電子図書の導入

コロナ禍においても安心して本の貸し出しができる電子図書を飛騨市図書館に導入し、在宅でインターネットを通じて電子図書を読むことができる環境を整備します。

4,000 千円
文化振興課
(概要書26P)

新規 市役所テレワーク環境の整備

コロナや災害、出張時などに市役所庁舎以外でも変わらず業務を行える環境を整えるため、モバイルPCの導入や外部から職場へアクセスできる環境を整えます。

543 千円
管財課
(概要書27P)

新規 RPAと会議録作成システムの実証実験

市役所内の定型業務を自動化するRPAツール及びAI機能による音声を自動テキスト化する会議録作成支援システムを導入し業務の効率化を図ります。

4,514 千円
総務課
(概要書28P)

持続可能な公共サービスの推進



新規 公共交通二種免許取得費用の支援

公共交通事業者が従業員の普通二種免許取得を助成する場合、その助成費用の1/2(上限20万円)を補助することで、運転手不足の解消を図ります。

600 千円
総務課
(概要書29P)

新規 GIS航空写真の更新及び家屋スクリーニング調査の実施

経年変化に伴う航空写真と地図データの差異を解消するため、市内の航空写真を撮影し、新旧写真画像の比較判読による家屋スクリーニング調査を実施します。

30,690 千円
税務課
(概要書30P)

新規 松ヶ瀬最終処分場の残余量調査

松ヶ瀬最終処分場における搬入可能な残余量の調査を実施し、今後の施設管理計画を検討するための基礎資料として活用します。

2,189 千円
環境課
(概要書31P)

新規 みずほクリーンセンター(CC)へのし尿処理施設の統合

令和4年度のみずほCCへの統合を目指し、北吉城CCを中継施設へ転換するための施設改修を行うとともに、改修中は北吉城CCからみずほCCへし尿を運搬します。

77,000 千円
環境課
(概要書32P)

継続 上水道施設の整備

施設の劣化程度や財政の状況、市民の利便性の向上等も踏まえながら、老朽管路の更新、設備の機能回復など効率的・計画的な資産管理に取り組みます。

143,702 千円
水道課
(概要書33P)

継続 生活を支える道路・橋梁などの基盤整備

市民生活を支える道路の改良・補修、交通安全・防災対策や老朽化した橋の補修を行うとともに、急傾斜地対策など、各種基盤整備を推進します。

576,900 千円
建設課
(概要書34~36P)

継続 市道等の安定的な除雪

除雪機械や消融雪施設、凍結防止剤の散布等による道路除雪を行うとともに、除雪機械の計画的な更新や消雪施設の維持管理を行います。

384,986 千円
建設課
(概要書37P)

安心して結婚できる環境の整備

新規 新婚世帯の住宅取得や賃貸、引越しの支援

要件を満たす新婚世帯が、市内で新婚生活をスタートするにあたり必要となる住宅取得費、住居賃貸費、引越し費用に対し最大30万円を補助します。

6,000 千円
地域振興課
(概要書38P)

新規 結婚祝い金制度の創設

市民の結婚を支援するため、結婚祝い金として一律3万円の交付に加え、市外から嫁入り・婿入りした場合は、2万円を加算します。

2,000 千円
地域振興課
(概要書38P)

継続 結婚・婚活の応援

全国的なネットワークを持つ民間業者との連携による婚活イベントや、結婚相談や講座の実施、であいサポートセンターの運営支援を行います。

4,691 千円
地域包括ケア課
(概要書39P)



(組織の見直し)

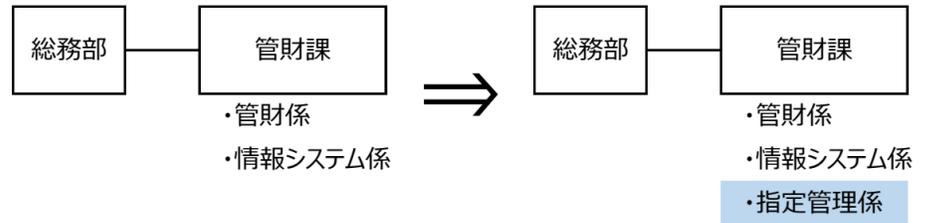
(見直し前)

(見直し後)

組織 総務部管財課内に「指定管理係」を新設

地域振興課の指定管理業務と観光課の施設管理業務を管財課へ移行し、財産のハード管理の効率化を図るとともに、地域振興課と観光課のそれぞれ2係を1係に統合します。

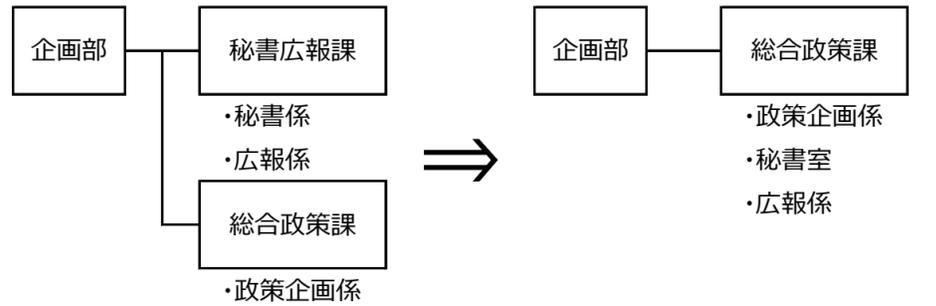
総務部



組織 企画部内の「秘書広報課」を「総合政策課」に統合

政策企画業務と秘書業務の連携を強め効率化を図るとともに、CATVや同報無線等の広報媒体を広報係に集約し情報の一元管理による発信力強化を図ります。

企画部



高齢者が安心して生き生き暮らせるまちづくり

高齢者を取り巻く環境が多様化する中で、市や専門職による制度に基づいたサービスだけでなく、家族、友人、隣人、地域、そして社会で助けあうインフォーマルサービスの充実を図り、高齢者が生き生き暮らせるまちづくりを推進します。

互助・共助の促進による高齢者の生活支援

新規 高齢者等の通いの場への出張販売の促進

高齢者等の通いの場へ出張販売する市内事業者に対し、最大5万円の奨励金を交付することで、事業者の自発的なサービス拡大を促進します。

300 千円
地域包括ケア課
(概要書40P)

拡充 高齢者世帯への配達サービスの促進

高齢者宅への配達サービスを積極的に行う者として市で作成する配達サービス一覧に掲載を希望する事業者に最大2万円の奨励金を交付します。

700 千円
地域包括ケア課
(概要書40P)

新規 地域貢献的に高齢者の生活を支援する事業者への奨励

事業者が高齢者の生活支援のため試行的にチャレンジする事業に、最長3年間で年3万円の奨励金を交付するとともに、広告宣伝に最大20万円を補助します。

260 千円
地域包括ケア課
(概要書41P)

拡充 高齢者等の送迎支援体制の充実

介護支援ボランティアポイント制度の活動内容に、高齢者等の無償送迎支援を行っていただけるボランティアを追加し、更なる互助の促進を図ります。

3,247 千円
地域包括ケア課
(概要書42P)

拡充 「いきいき券」の移動販売や灯油購入等への使途拡大

いきいき券の使途に移動販売、灯油代、宅配事業者等の配達料の利用を追加するとともに、郵便局との連携により、打保と東茂住の郵便局でも交付可能とします。
(予算額は「いきいき地域生活応援事業」の総額です)

(20,000 千円)
地域包括ケア課
(概要書43P)

拡充 自動車免許返納時のバス回数券交付の追加

免許返納者への「いきいき券」の特別追加交付について、濃飛バス利用券(6,000円分)を新たに追加し、「いきいき券」との選択制とします。
(予算額は「いきいき地域生活応援事業」の総額です)

(20,000 千円)
地域包括ケア課
(概要書43P)

拡充 通院タクシー助成の乗車場所の拡大

医療機関受診後、徒歩でスーパーに行った場合、そのスーパーからの帰宅時でも、タクシー助成券が利用できるようにするなど、乗車場所の緩和を行います。

1,900 千円
地域包括ケア課
(概要書44P)

高齢者とその家族を支える環境の整備

新規 民間事業者と連携した認知症地域支援体制の強化

地域支援業務等の一部を民間委託することにより、官民連携による認知症高齢者と家族を支える体制の構築を図るとともに、認知症機能評価ツールを導入します。

2,912 千円
地域包括ケア課
(概要書45P)

新規 認知症高齢者による事故等の損害賠償保険の支援

認知症高齢者が徘徊等で引き起こす問題により高額な損害賠償請求が発生する事例等に対し、賠償責任保険の加入にかかる費用を市が全額支援します。

66 千円
地域包括ケア課
(概要書45P)

拡充 終活支援センターによる終活ブックの発行

終活支援センターの運営を引き続き飛騨市社会福祉協議会に委託し、遺族の手続きを紹介した冊子の作成や様々な専門家を集めた相談会を新たに開催します。

3,797 千円
地域包括ケア課
(概要書46P)

拡充 介護世帯へのオムツ用ごみ袋支援の対象拡大

介護世帯へのオムツ用ごみ袋支援について、対象要件を要介護3以上から要介護1以上に緩和し、おむつ処分のためのごみ袋を100袋進呈します。
(予算額は「子育て・介護を行う世帯等に対するごみ袋の支援事業」の総額です)

(774 千円)
環境課
(概要書11P)

医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制整備の推進

新規 看護従業者のキャリアアップの支援	
市内医療機関等に准看護師として勤務しながら、ステップアップのため正看護師の資格を取得された方に、その学費の1/2を支援します。	(13,837 千円) 地域包括ケア課 (概要書47～54P)
(予算額は「飛騨市医療・介護・福祉人材確保対策事業」の総額です)	

新規 介護事業所の人材募集広報宣伝の支援	
介護事業所が行う介護人材募集のための広告等宣伝に対し、経費の2/3（上限15万円）を支援する制度を新たに創設します。	(13,837 千円) 地域包括ケア課 (概要書47～54P)
(予算額は「飛騨市医療・介護・福祉人材確保対策事業」の総額です)	

新規 ケアマネ新規事業所の開所支援	
市内において居宅介護支援事業所を開所（再開又は別の場所への事務所の追加拡張等を含む）する事業者の開所費用に対し、最大30万円を支援します。	(13,837 千円) 地域包括ケア課 (概要書47～54P)
(予算額は「飛騨市医療・介護・福祉人材確保対策事業」の総額です)	

継続 看護人材確保のための学生研修フィールドの提供	
看護大学生の地域実習としての受入れ費用を支援するとともに、市の地域医療現場や多職種の連携を学ぶ見学会「オープンホスピタル」を継続実施します。	500 千円 病院管理室 (概要書56P)

拡充 外国人技能実習生の受入支援拡大	
サンビレッジ国際医療福祉専門学校に入学し市内法人に就業を決めた外国人留学生に対して家賃支援に加え、新たに最大5万円の入学祝金を支援します。	(13,837 千円) 地域包括ケア課 (概要書47～54P)
(予算額は「飛騨市医療・介護・福祉人材確保対策事業」の総額です)	

拡充 ケアマネ確保支援事業の対象拡大	
岐阜市等で行われるケアマネ資格の各種更新研修への参加支援について、居宅介護支援事業所だけでなく、他のサービスや施設ケアマネにも対象を拡大します。	(13,837 千円) 地域包括ケア課 (概要書47～54P)
(予算額は「飛騨市医療・介護・福祉人材確保対策事業」の総額です)	

拡充 在宅療養サービス向上に向けた最新機器導入の支援	
在宅療養を円滑にする最新機器やICT機器等をサービス現場へ導入しようとする事業者に対し、導入費用の最大30万円を支援するメニューを新たに追加します。	800 千円 地域包括ケア課 (概要書55P)

継続 里山ナース院内認定制度による看護師の育成	
『自分を見つめなおす看護』を習得する「2nd“HYPER”レベル」の育成を継続するとともに、就職セミナー等で看護職員獲得に向けた採用活動を実施します。	2,000 千円 病院管理室 (概要書57P)

生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち

楽しく健康づくり・体力づくりができる環境づくり

飛騨市に住むことで、全ての世代が無理や我慢することなく生活習慣の中で自然に楽しく健康づくり・体力づくりができるよう、運動機会の創出や環境整備を推進し、人生100年を健康100年で過ごせるまちづくりを推進します。

全世代の体力・健康づくりの推進

拡充 全世代の体力づくりのための「飛騨市スポレク祭」の開催	
全世代を対象として、一般のスポーツに加え、スポーツ吹き矢やアルティメットなど、新しいレクリエーションに触れられるイベントを各町で隔年交代に開催します。	900 千円 スポーツ振興課 (概要書58P)

継続 飛騨市屋内運動場の整備推進	
屋内運動場の建設地となる飛騨市森林公園内の既存施設（管理棟・宿泊棟・テニスコート場）の除却を行うとともに、新築の基本・実施設計を行います。	96,367 千円 スポーツ振興課 (概要書60P)

継続 “こっそり減塩”の周知広報	
既存の調味料を少しずつ減塩調味料に置き換える「こっそり減塩」について、減塩フォーラムや減塩食品試食会において周知を図るほか、啓発グッズ等を配布します。	571 千円 市民保健課 (概要書62P)

拡充 クアオルト健康ウォーキングの更なる活性化	
定例ウォーキングの増回と独自コースの新設を行うとともに、参加者によるクラブ化を促進しメンバーズカードやウォーキング手帳を発行、他自治体との交流を行います。	2,067 千円 スポーツ振興課 (概要書59P)

新規 Webを活用したがん検診予約システムの導入	
コロナ禍に対応し密を避ける完全予約制のがん検診を実施するため、Webを使った予約システムを導入し、電話予約と併用することで、市民の利便性向上を図ります。	880 千円 市民保健課 (概要書61P)

拡充 尿中塩分濃度検査の小学生への拡大	
これまで実施している3歳児、保育園児、中学生から二十歳までの尿中塩分検査について、小学校6年生を新たに追加するほか、小学校で減塩教育を実施します。	80 千円 市民保健課 (概要書62P)

仕事や役割の創出による誰もが活躍できる環境づくり

全ての人が一人ひとりの個性や特技に合わせた仕事、地域での役割などを持ち、様々な場面で活躍できる環境を整えることで、その喜びを実感し生き生きと暮らすことができるまちの実現を目指します。

高齢者や障がいのある方の仕事や役割の創出

拡充 働く意欲のある高齢者の就業支援	
シルバー人材センターの就業時間制限の拡大を図るとともに、会員と業務のマッチングを円滑するための人員増等の支援を行います。	11,600 千円 地域包括ケア課 (概要書63P)

拡充 障がい者就労支援事業所との連携による生ごみ減量化の推進	
障がい者就労支援事業所がばかし推進団体の技術指導を受けながら作業を行うことで技術継承を進めるとともに、ばかしの各戸への配布サービスを実施します。	3,253 千円 環境課 (概要書64P)

お互いを家族のように思い、支えあえるまち

コロナ禍における支え合い体制づくり

人と人との関わりが希薄になりがちなコロナ禍にあっても、「繋がりを絶やさない」地域の支え合い活動を応援するとともに、人材育成を柱とした地域防災力の強化により「みんなにやさしいまちづくり」を推進します。

地域コミュニティ維持の支援

拡充 地域コミュニティ施設の維持補修等に対する支援の充実

集落有集会施設整備事業補助金に、建物の屋根・外壁の修繕や駐車場用地の購入（100㎡以上）及び造成の補助メニューを追加します。

13,047 千円
生涯学習課
(概要書65P)

新規 地域コミュニティ単位での研修会等の開催支援

地域コミュニティ単位で講師等を招き研修会等を開催する際に必要な費用について最大10万円を支援し、地域での学習機会の創出と連帯感の醸成を図ります。

500 千円
生涯学習課
(概要書65P)

地域防災を担う人材の育成

新規 防災士会の育成と活動備品等の支援

防災士資格保有者に対し防災気象、要配慮者対応についてのフォローアップ研修を実施するとともに、防災士会活動のための防災ベスト及び資機材の準備をします。

1,712 千円
危機管理課
(概要書66P)

新規 中学生の防災教育の強化

防災士会や各種機関と連携し、古川中学生を対象とした防災授業を試行し、令和4年度からの本格実施に向けた準備を行います。

0 千円
危機管理課
(概要書66P)

新規 福祉避難所の開設・運営体制の強化

岐大地域減災研究センター講師を招へいし、市内の福祉避難所をモデルにした「HUG（ハグ）」訓練を実施することで、福祉避難所運営リーダーを育成します。

201 千円
障がい福祉課
(概要書67P)

継続 指定避難所への簡易式テントの配置

避難所における体調不良者等の一時的隔離やコロナ禍における感染症対策として、指定避難所（17か所）に簡易式テントを51張配置します。

3,400 千円
危機管理課
-

消防団活動への支援

新規 コロナ禍における消防団活動・訓練の充実

大人数を避け各分団や部等が感染対策を施し、少人数で訓練できる常設場所とするため古川消防署裏の駐車場の舗装工事を行います。

4,795 千円
消防本部
(概要書68P)

継続 船津火災の経験を活かした消防団装備品の充実

令和2年の住宅密集地での消火活動の経験を踏まえ、防火衣の追加配備を行うとともに、防煙防塵マスクや低水位ストレーナーを導入します。

2,365 千円
消防本部
(概要書69P)

新規 消防団協力事業所との協働による入団促進

消防団加入PRマグネットシートを協力事業所に配布するとともに、消防庁舎に消防団募集のPR横断幕・懸垂幕等を掲示し、入団促進と団員の士気向上を図ります。

711 千円
消防本部
(概要書70P)



安心して子育てできる環境づくり

コロナ禍における3密の回避や行動制限などによる子育ての不安や身体的な負担を軽減するとともに、子ども達の成長に欠かすことのできない「遊び」を強化することで、伸び伸びと楽しく暮らせるまちづくりを推進します。

小さなお子さんを育てる保護者の悩みや不安・負担の軽減

新規 「一時保育無料お試し券」の交付

未満児保育を利用していない保護者が通院や息抜きのために気兼ねなく一時預かり保育を利用できるよう、無料のお試し券を配布し、保護者の負担軽減を図ります。

50 千円
子育て応援課
(概要書71P)

新規 子育て支援員の育成

子育て支援員研修を市内で開催するとともに、認定を受けた方が保育園やファミサポ等で活躍しやすい環境を整備し、子育て環境の充実を図ります。

2,940 千円
子育て応援課
(概要書72P)

拡充 市内3箇所での「おでかけママサロン」の実施

河合・宮川地域から古川のママサロン会場までの移動を解消するため、河合子育て支援センターにおいてもママサロン「おでかけまるん」を新規開設します。

2,184 千円
市民保健課
(概要書73P)

拡充 産後ケア助成事業の制度拡大による負担軽減

出産後1年までの体調不良や育児不安などで特に支援が必要である方を対象に、医療機関等が実施する産後ケアの利用料の9/10を助成します。

1,024 千円
市民保健課
(概要書73P)

新規 私立保育園の保育士確保支援

私立保育園における保育士不足解消のため、就職奨励金や賃貸住宅等の家賃補助、求人活動にかかる費用支援、空き家を社宅化するための費用支援を行います。

1,560 千円
子育て応援課
(概要書74P)



子ども達が安心して楽しく遊べる環境の整備

拡充 「ハートぴあ広場」「神岡子育て支援センター」の遊び場開設

「ハートぴあ広場」に加え、神岡子育て支援センターにおいても第2日曜日を無料開放し「子どもの遊び場」として開設します。

676 千円
子育て応援課
(概要書75P)

新規 天候を気にせず遊べる環境の整備に向けた検討

既存の施設等を活用した全天候型子どもの遊び場の本格設置に向け、関係者との意見交換により整備の規模や遊具等の検討を行い、開設を目指します。

661 千円
子育て応援課
(概要書75P)

新規 杉崎公園の遊具リニューアル

老朽化した杉崎公園の遊具の更新を令和3年度からの2ヵ年で実施し、子ども達の成長ステージに応じて安全で楽しく遊べる環境を整えます。

53,500 千円
都市整備課
(概要書76P)

継続 誰にでも優しい都市公園づくり

施設規模が大きく利用者の多い千代の松原公園と坂巻公園において、多機能トイレの整備やバリアフリー対策工事を実施します。

15,000 千円
都市整備課
(概要書77P)

拡充 小中学校通学路等の防犯カメラ設置

飛騨警察署との連携により、通学路周辺、不審者出没地点等を重点として、防犯カメラを市内2箇所に設置します。

3,690 千円
危機管理課
(概要書78P)

様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち

広葉樹の森が生み出す豊かな水が繋ぐ農林畜産物の振興

飛騨市の総面積の9割を占める森林の中にあつて、広葉樹の森が作り出す豊かな水と、その水が作り出す豊富な農畜産物のストーリーの見える化と、これまで取り組んできた個々の農産物等の価値・収益を伸ばしつつ、更なる生産性の向上を図ります。

“食”をテーマにしたまちづくりの推進

新規 上町農産物直売施設の建設

老朽化が激しい朝開農産物直売施設を道の駅アルプ飛騨古川の敷地内に建替えし、年間を通した農産物や加工品の販売により、農産物の販路拡大を図ります。

121,153 千円
農業振興課
(概要書79P)

新規 豊かな広葉樹の森と地場産品の関係性に関する調査研究

大学や地場産品の生産者などのフィールドワークを元に、豊かな森に育まれる清らかな水や土壌と地場産品との関係性を紐解く調査研究を実施します。

3,918 千円
林業振興課
(概要書80P)

新規 森と恵みの連関にかかる人材育成と情報伝達ツールの制作

広葉樹の森が育む水と質の高い農産物の連関について、関係者自ら語り合えるよう勉強会等を行うとともに、動画などの情報伝達ツールを制作します。

6,382 千円
林業振興課
(概要書80P)

新規 飛騨市農産物総合カタログの作成

農業者の農産物と収穫量や時期等を網羅した「食」の総合カタログをWebで制作し、広く情報発信するとともに商談時にも活用し、農産物の販路拡大を図ります。

2,000 千円
農業振興課
(概要書81P)

拡充 飛騨市まるごと食堂の期間拡大

農家と市内飲食店・旅館等が連携し飛騨市産食材を活用したメニューを期間限定で提供する「飛騨市まるごと食堂」を期間を拡大して実施します。

1,600 千円
農業振興課
(概要書81P)

新規 地域の特色を迫及したお米の研究

水や堆肥、栽培方法などに飛騨市ならではの特色を出し、有名銘柄にも打ち勝つほどの突出したインパクトのあるブランド米の研究を行います。

0 千円
農業振興課
(概要書82P)

拡充 飛騨市産業まつりの開催

これまでの農業まつりをリニューアルし、農畜林水産物を使用した食品・特産品・加工品・工芸品等に加え、様々な産業が一同に集う産業まつりを新たに開催します。

1,500 千円
農業振興課
(概要書83P)

新規 バラと森のウィークの開催支援

市民や事業者と連携し、河合のバラを贅沢に使った食事やバラ摘み体験、バラ風呂などをセットにしたツアーを企画することで、新たな地域資源の活用を推進します。

1,500 千円
河合振興事務所
(概要書85P)

新規 鮎の知名度向上のための設備支援

令和2年度に東京豊洲市場に初参入し好評を得た清流みやがわ鮎の良質で安定的な出荷のため、出荷用の製氷機、品質保全用保冷庫の購入を支援します。

720 千円
宮川振興事務所
(概要書86P)



新規 (仮称) おうちレシピグランプリの開催

季節に応じた地元の農作物によるレシピグランプリを開催し、審査員には有名料理人やインフルエンサーを起用、優勝者のレシピを公開するなど家庭への普及を図ります。

1,260 千円
農業振興課
(概要書81P)

新規 米コンクールへの出品支援

飛騨市のお米に誇りを持ち、より美味しいお米を作る意欲を醸成するため、講習会等の参加を条件に米コンクールへ出品する費用の一部を助成します。

1,050 千円
農業振興課
(概要書82P)

新規 「ごはんソムリエ」の認定支援

農家や卸業者、飲食店等を対象に、日本炊飯協会が認定する「ごはんソムリエ」の取得を支援し、米の幅広い知識の普及啓発と飛騨米のPR促進を図ります。

160 千円
農業振興課
(概要書82P)

拡充 飛騨市まるごと野菜体験プログラムの実施

飛騨市まるごと食堂と連動し、農作業体験、畑での料理教室、地元食材尽くしの限定ディナーなどを提供する「飛騨市まるごと野菜体験」プログラムを実施します。

880 千円
観光課
(概要書84P)

新規 食べるバラを活用した“映える”料理の開発支援

食べるバラを利用した新しい料理メニューの開発を行っていただける市内飲食店に対し、食べるバラを提供することでメニュー開発を支援します。

33 千円
河合振興事務所
(概要書85P)

新規 飛騨地鶏の生産・市内流通の拡大

孵化率の改善による生産性向上のための研修を実施するとともに、市内農家や飲食店等と連携した希少部位の活用による知名度向上を図ります。

163 千円
畜産振興課
(概要書87P)

新規 「飛米牛」を活用した商品開発支援	
元公邸料理人の工藤英良氏を招へいし、飛米牛と農産物等を組合わせた料理メニューの開発を行い、料理セットの商品化やレシピによる飲食店での活用を図ります。	126 千円 畜産振興課 (概要書88P)

新規 日本みつばち飼育のための技術向上支援	
市の新たな特産品となりえる日本みつばちの飼育管理、疾病対策等の知識・技術向上のため、専門家を招き現場での研修会を開催します。	141 千円 畜産振興課 (概要書89P)

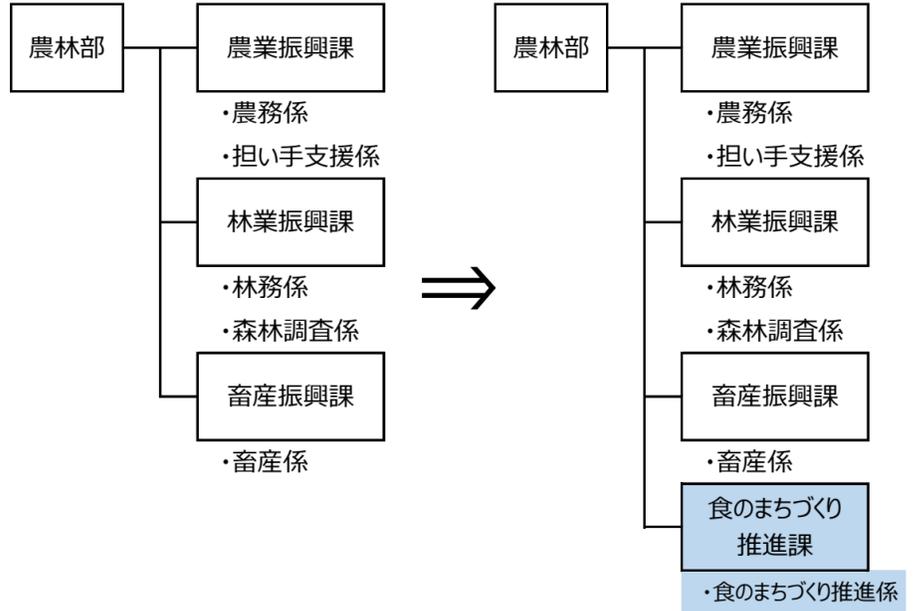
拡充 農産加工品等を含む新商品開発支援制度の充実	
1回あたりの補助上限額を50万円に引き上げるとともに、新商品の初回生産時に大きな負担となる原材料費及び加工委託費を補助対象経費として追加します。	(30,000 千円) 商工課 (概要書90～92P) (予算額は「商工業活性化包括支援事業」の総額です)

継続 飛驒産飛驒牛のロゴシール作成	
「飛驒育ち飛驒牛」について、市内精肉店等でパックや包装紙にシールを貼っていただくほか、ふるさと納税返礼品等でもWEB上に標記をして差別化を図ります。	154 千円 畜産振興課 —

継続 飛驒えごまスタンプラリーの開催	
飛驒えごまを活用したメニューを市内飲食店等で提供する「えごま月間」期間中に、参加者自らが対象事業者のお店を回ってもらうスタンプラリーイベントを実施します。	450 千円 商工課 —

(組織の見直し) (見直し前) (見直し後)

組織 農林部内に「食のまちづくり推進課」を新設	
農林部内や振興事務所等の“食”をテーマとした事業を全て統括し、部局横断的な食のまちづくりを推進する「食のまちづくり推進課」を農林部内に新設します。	農林部



農林畜産業の生産性向上

新規 冬期間の新たな作物にチャレンジする生産者の支援	
冬期間におけるイチゴなど、新たな作物の栽培にチャレンジする生産者に対し、最大100万円を助成する制度を創設します。	1,000 千円 農業振興課 (概要書93P)

新規 モデル地区におけるサル被害対策の効果検証	
サル被害の多い地区を重点モデル地区とし、柵設置状況の確認やエサとなるものの除去指導など、獣を寄せ付けない環境整備を実施します。	930 千円 農業振興課 (概要書94P)

新規 サル用防止柵及び撃退機の導入支援	
通常の柵よりも単価の高いサル用の柵及び撃退機の導入に対し費用の1/2（個人10万円、集落・法人200万円を上限）を支援する制度を新たに創設します。	1,000 千円 農業振興課 (概要書94P)

拡充 獣害による法面被害の復旧にかかる支援	
小規模基盤整備事業補助金にイノシシ等による圃場法面の掘り起こし被害の復旧支援メニューを追加し、復旧費用の1/2を補助します。	4,000 千円 農業振興課 (概要書95P)

拡充 杉崎地区の土地改良事業計画の策定	
杉崎地区土地改良事業の事業申請に必要な土地及び地権者、権利関係などの調査、法手続きに必要な書類整備を行います。	14,329 千円 農業振興課 (概要書96P)

拡充 堆肥を利用する農家に対する助成対象作物の拡大	
一定量以上の高品質堆肥を利用する耕種農家等に助成する制度の対象作物を、従来の大豆、そば、牧草に加え、水稲、とうがらしを新たに追加します。	1,435 千円 畜産振興課 (概要書97P)

新規 放牧管理にドローンを活用する事業者への支援	
飛驒市和牛改良組合が行う放牧管理のためのドローンの導入費用について3/4を支援し、管理人の労力軽減・監視能力向上を図ります。	453 千円 畜産振興課 (概要書98P)

新規 飛驒牛の受精卵移植・採卵費用の支援	
飛驒牛生産地の維持強化のための増産を目的に、民間の獣医師と連携した積極的な採卵を行うため、採卵に係る費用の1/2を補助する制度を創設します。	275 千円 畜産振興課 (概要書99P)

新規 牛伝染性リンパ腫陰性牛の導入促進補助金の創設	
牛伝染性リンパ腫陽性牛を淘汰し、新たに陰性牛を導入する農家に対し、1頭あたり8万円を補助することで、市内の陽性牛ゼロを目指します。	1,600 千円 畜産振興課 (概要書100P)

新規 高性能林業機械導入による高度林業技術確立への支援	
高性能林業機械導入に要する経費の一部を支援する国・県補助に加え、事業費の1/10以内の額を市が上乗せ助成を行います。	8,599 千円 林業振興課 (概要書101P)

新規 森林集約化推進協議会の体制強化による境界明確化の推進	
飛騨市森林集約化推進協議会の森林集約化業務に境界明確化業務と経営意向調査業務を追加するとともに、賃金増額等による体制強化を図ります。	4,465 千円 林業振興課 (概要書102P)

新規 森林経営管理法に基づく未整備森林の整備	
所有者の意向や現地調査等により森林経営の適否を判断し、不適森林については、市に森林経営管理実施権を設定し、市主体で森林整備を実施します。	5,000 千円 林業振興課 (概要書103P)

就農者の確保対策の推進

新規 就農を志す方のお試し体験等の支援	
農業研修を目的として事前に飛騨市を訪れる方が、農業体験等に参加される際の宿泊や交通費等を支援する制度を創設します。	60 千円 農業振興課 (概要書104P)

新規 中高年農業者に向けた水稻拡大補助金の創設	
中高年(45～74歳)が、新たに農地を借りて水稻作付をする際の農機具等の導入に対し、上限50万円の補助制度を創設することで、農地保全・維持を図ります。	500 千円 農業振興課 (概要書105P)

継続 新規就農・農業研修者の家賃補助	
市外から移住されたトマト研修所等の農業研修者が、市内の賃貸住宅等に住む場合の家賃に対し1/2を支援し、経済的・精神的な不安を軽減します。	420 千円 農業振興課 (概要書106P)

拡充 飛騨牛研修・繁殖センターの研修環境向上	
研修生の快適な研修環境を整備するため、ひだキャトルステーションが行う研修生用の休憩所等の整備や年3回の臭気測定等の費用を支援します。	3,110 千円 畜産振興課 (概要書107P)

人や暮らしで“魅せる”観光地づくり

飛騨市の歴史や文化、何気ない日常生活の一コマを魅力的な観光資源として魅せる“飛騨市らしさ”を追求し、日常生活や文化、まちづくり活動の掘り起こしや受入体制の強化により、アフターコロナを見据えた居心地がよい観光地づくりを目指します。

暮らしやまちづくり活動の観光コンテンツ化

新規 飛騨の四季の魅力を伝えるオンライントラベルの実施	
飛騨市の四季を感じられる自然や食、体験等をテーマに、生放送で市内各地のモノ・ヒト・コトを巡り紹介するオンライントラベルを年4回実施します。	1,100 千円 観光課 (概要書108P)

新規 祭文化“呼び引き”体験ツアーの開催	
飛騨古川まつり会館を起点とし、街あるきや呼び引き料理のランチをセットとしたツアーを企画し、祭文化を観光に繋げる新たなコンテンツの造成を図ります。	900 千円 観光課 (概要書109P)

新規 古川祭をコンテンツ化したオンライン懇親会の開催	
地域の祭と全国の祭好きをマッチングする団体と連携し、オンラインを活用した「古川祭懇親会」を開催することで、古川祭への関心を高め、来訪するきっかけを創出します。	550 千円 観光課 (概要書109P)

拡充 古川祭屋台AR映像コンテンツ（日本語版）の制作	
古川祭の屋台蔵でスマホをかざすと街並みを背景に屋台が重なって見えるAR映像コンテンツを制作し、祭当日以外でも屋台を楽しめる環境を整備します。	3,000 千円 観光課 (概要書109P)

継続 飛騨市みんなの博覧会の開催	
市民自らが仕掛け人となり開催する飛騨みんなの博覧会の各プログラムのブラッシュアップを図り、年間を通じたプログラムの常設化と体験マップの作成を行います。	4,824 千円 観光課 (概要書110P)



アフターコロナを見据えた観光受入体制の強化

新規 アフターコロナにおける観光客受入体制の支援	
アフターコロナの旅行者ニーズの変化（開放的、少人数、長期滞在、清潔志向等）に対応するための事業者の取り組みに対し、最大100万円を支援します。	5,000 千円 観光課 (概要書111P)

新規 周遊観光バスツアー誘致のための補助制度創設	
市内の多様な観光資源へのツアー造成に繋げるため、飛騨地域外を発地として貸切バスを利用した旅行企画に対し、最大5万円を補助する制度を創設します。	1,000 千円 観光課 (概要書112P)

拡充 コンベンション事業推進補助金の補助額等の拡大	
大会や合宿等の開催誘致を図る補助金について、大規模大会等への上乗せや宿泊費に対する補助基準見直し、支援対象に教育旅行を追加します。	13,000 千円 観光課 (概要書113P)

拡充 自然体験プログラムのブラッシュアップ	
天生湿原や池ヶ原湿原を活用した自然体験プログラムの認知度向上や予約手続の簡略化、ガイドのスキルアップなどに取り組み、プログラムのブラッシュアップを図ります。	458 千円 観光課 (概要書84P)

拡充 気象データ等と連動した観光客動向調査の実施	
市役所前駐車場の車両ナンバー認証システムに、気象データやSNS投稿・メディア露出等の様々なデータと掛け合わせて分析し、より詳細な観光動態を調査します。	1,232 千円 観光課 (概要書114P)

継続 データ活用力を身に付けた観光人材の育成	
観光客動向調査の分析や活用、新たなデータの取得方法等を習得した人材を育成するため、外部専門講師を招へいし、ワークショップ形式の研修会を開催します。	1,000 千円 観光課 (概要書115P)

継続 市民向け観光人材育成ツアーの開催	
市民一人ひとりが観光資源や地域の魅力を伝えられるよう、市民を対象としたまちなみ散策と自然散策の2コースからなる「観光人材育成ツアー」を開催します。	376 千円 観光課 (概要書115P)

変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち

地域資源を活かした産業の確立

これまで地域資源の掘り起こしから様々な可能性を見出し、様々なまちづくりに繋げてきた薬草や広葉樹について、次のステップとして産業としての展開を目指した調査・研究を進め、地域資源を活かした産業の確立を図ります。

広葉樹のまちづくりの推進

新規 広葉樹林業推進アドバイザーの登用	
岐阜県立森林文化アカデミーの元教員による「広葉樹のまちづくり」に必要な指導・助言を通年にわたり受けることで、造林・施業の強化を図ります。	2,100 千円 林業振興課 (概要書116P)

新規 市民向け広葉樹のまちづくりツアー等の開催	
分野等に関係なく広葉樹のまちづくりに関心のある方を対象とした対話会の開催や実際に現地で実践者から取り組みの詳細を伝える市民向けツアーを開催します。	0 千円 林業振興課 (概要書117P)

新規 広葉樹活用に係る全国シンポジウムの開催	
全国の広葉樹活用に関わる自治体等との意見交換や飛騨市の広葉樹のまちづくりを全国に発信するため、広葉樹活用に係るシンポジウムを開催します。	649 千円 林業振興課 (概要書118P)

新規 広葉樹を活用した賃貸住宅整備の支援	
広葉樹材を建材として活用するモデル性の高い賃貸集合住宅を整備する事業者に対し、木工事に要する経費の一部を支援する制度を創設します。	14,000 千円 林業振興課 (概要書119P)

新規 飛騨市産広葉樹を活用した木製品の公共施設等への導入	
市有施設等の公共スペースに市内産広葉樹で製作した椅子やテーブル等の設置を市が率先して進め、「広葉樹のまちづくり」のPRと市のイメージアップを図ります。	1,500 千円 林業振興課 (概要書120P)



新規 公共スペースをショールームに見立てた展示・商談会の開催	
休日の市役所ロビー等をショールームに見立て、これまで市内産広葉樹で製作された家具や什器等の木製品の展示・商談会を開催します。	0 千円 林業振興課 (概要書120P)

新規 持続可能な広葉樹林業確立に向けた研究の実施	
専門家及び研究機関が飛騨市をフィールドに研究や実証を行い、その成果を飛騨市にフィードバックすることにより持続可能な広葉樹林業の確立を目指します。	2,995 千円 林業振興課 (概要書121P)

薬草ビレッジ構想の推進

拡充 薬草拠点施設「ひだ森のめぐみ」の運営	
専属店員の配置による安定した管理運営を行うとともに、店内ディスプレイのブラッシュアップや、快適に中庭で薬草鑑賞ができる環境整備を行います。	6,623 千円 地域振興課 (概要書122P)

新規 薬草を活用したツアーやオンラインワークショップ等の開催	
メディア等招へいツアーやオンライン薬草ワークショップ、出張ワークショップを開催し誘客を図るとともに、市民農園を活用したメナモミ農園の開設を行います。	2,960 千円 地域振興課 (概要書123P)

拡充 朝霧の森薬草園の活用推進	
朝霧の森を活用したフィールドワークやウォーキング事業の魅力向上を図るため、園内看板の整備と散策マップの作成を行います。	573 千円 地域振興課 (概要書123P)

新規 県や企業と連携した薬草の栽培技術・成分等の研究	
岐阜県中山間農業研究所や市内企業との協働により、薬草新商品の開発に向けた薬草栽培技術の研究や、エビデンス確立のための成分分析調査を行います。	800 千円 地域振興課 (概要書123P)

コロナ禍における事業者の需要拡大の推進

コロナ禍において、遠く離れた都市部にいる方たちが現地に行けないながらも積極的に地方の産品を購入する動きをチャンスと捉え、首都圏等からの外需獲得を推進するとともに、内需の掘り起こしを行います。

コロナ禍における外需獲得の推進

継続 首都圏ショップでの特産品プレミアムブランド「ひだもの」コーナー開設
特産品の更なるブランディングに取り組むとともに、東京都心部ショップでの「飛騨もの」商品コーナーを常設する形の“連携型アンテナショップ”を開設します。
3,850 千円
商工課
(概要書124P)

継続 伴走型支援によるネットショップ人材の育成
E C・マーケティング専門家等を講師として、販売計画や顧客の心をつかむ販売方法などを学ぶワークショップやWEBサイトの操作を学ぶ勉強会を開催します。
2,442 千円
商工課
(概要書125P)

商店街と連携した内需掘り起こしの推進

新規 行政ポイント発行による商店街の活性化
市主催事業の参加者に対し、市内商工団体が運営するポイントカード制度に対応した100ポイント分（100円相当）の行政ポイント引換券を進呈します。
400 千円
商工課
(概要書126P)



コロナで得た知見を活かした経営体制の強化

コロナ禍で得た経験・知見を活かし、アナログとデジタルの融合による自動化や生産性向上などを通して労力を削減しつつ成果を上げやすくするDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するとともに、新型コロナや自然災害等に対応できる企業力の強化を促進します。

コロナ禍での事業者経営支援

継続 新型コロナを契機としたDXセミナーの開催
事業のスリム化・効率化に加えて柔軟性の向上にもつながるDXの推進を中心に、社会情勢の変化を見据えたセミナー等を開催します。
1,164 千円
商工課
(概要書127P)

継続 観光サービス業等に特化したBCセミナーの開催
宿泊・飲食・観光小売等の観光サービス業に特化し、令和2年度のコロナ禍を振り返り、今後の事業継続を考えるBCセミナーを開催します。
150 千円
商工課
—

継続 飛騨市ビジネスサポートセンターの運営
市が中小企業診断士と委託契約を結び、飛騨市独自のビジネスサポートセンターを設立することで、事業者に寄り添った伴走型の支援を実現します。
4,354 千円
商工課
—

一人ひとりの頑張りを応援し互いに尊敬しあえるまち

地域経営の視点を入れたファンづくりの推進

全国的に注目されている飛騨市ファンクラブに代表される関係人口に関する取り組みについて、更なる裾野拡大を図りつつ交流から経済利益を生み出し市内経済へ還元する仕組みの導入を推進します。

交流から市内経済へ還元する仕組みづくり

新規 飛騨市特産品をお得に買えるファン感謝祭の開催

事業者との連携により、特産品の通信販売にかかる送料の一部を市が負担することで、全国からお得にお買い物ができる期間限定のキャンペーンを実施します。

2,500 千円
地域振興課
(概要書128P)

新規 ファンクラブ会員限定カタログ通販の実施

これまでのファンクラブ会員向け暑中見舞い及び年賀状をリニューアルし、会員がお得に特産品を購入できる通販カタログを送付します。

2,300 千円
地域振興課
(概要書128P)

新規 飛騨市を舞台としたソーシャルビジネスの支援

飛騨市を舞台にして地域課題解決に取り組むソーシャルビジネスに対し、ふるさと納税等の仕組みを開放し、自ら集めた寄附を財源とする補助制度を新たに創設します。

20 千円
地域振興課
(概要書129P)

新規 広葉樹のまちづくり関係人口のネットワーク化

これまでの事業を通じてつながった全国の関係事業者を広葉樹のまちづくり共創パートナーとしてネットワークを構築し、広葉樹活用の新たなビジネス創出を目指します。

500 千円
林業振興課
(概要書130P)

関係人口の裾野拡大

新規 ファンクラブ会員限定の市内宿泊応援制度の創設

期間限定で、ファンクラブ会員が市内宿泊施設に宿泊される際に、会員1泊あたり2,000円の「さるぼぼコイン」を付与する特典を新たに創設します。

400 千円
地域振興課
(概要書131P)

新規 ファンクラブ新規入会促進キャンペーンの実施

ファンクラブ感謝祭での特産品購入とともに飛騨市ファンクラブに新規入会された方に、500円分のお買い物クーポンを発行し、ファンクラブ会員数の増加を図ります。

250 千円
地域振興課
(概要書131P)

新規 ファンクラブのカードレス会員証の発行

非接触型決済の推進と会員の利便性向上のため「さるぼぼコイン」アプリを活用した会員証を導入し、あわせて、ふるさと納税の現地決済機能を開発します。

1,100 千円
地域振興課
(概要書131P)

拡充 ファンクラブ会員名刺のオリジナル化による魅力アップ

名刺作成時に会員の希望に応じたデザイン等を選択できる仕組みを導入するとともに、プレミアム名刺デザインによる会員限定のふるさと納税返礼品名刺を作成します。

2,009 千円
地域振興課
(概要書131P)

“移住したくなるまち日本一”を目指した環境整備

新規 電子地域通貨等を活用した移住者奨励金制度の創設

従来の家賃支援を見直し、世帯移住の場合は15万円、単身移住の場合は10万円を地域電子通貨「さるぼぼコイン」等で交付する移住奨励制度を創設します。

7,850 千円
地域振興課
(概要書132P)

拡充 移住検討者の田舎暮らし体験のための宿泊支援

移住検討者が下見に来訪される際の交通費補助に加え、宿泊を伴って市内滞在される場合、宿泊費の1/2（上限3万円/回）を支援するメニューを追加します。

1,100 千円
地域振興課
(概要書132P)

拡充 移住者の希望に沿った住宅改修の支援

空き家を賃貸住宅として利活用する改修支援に加え、賃貸契約成立後に、移住者の希望に応じた住宅改修を実施する場合も補助対象に追加します。

4,528 千円
地域振興課
(概要書133P)

新規 みんなのテレワークスペースの整備

コロナ禍における全国的な田舎暮らしの注目などで移住検討に来訪された方や観光客等、誰もが様々な形でワーキングや会議ができる環境を整備します。

2,000 千円
地域振興課
(概要書134P)

新規 起業した地域おこし協力隊の事業継続の支援

起業した地域おこし協力隊の安定した経営基盤の確立と事業継続を支援するため、事業にかかる費用の1/2以内（上限100万円）を補助します。

2,000 千円
地域振興課
(概要書135P)

拡充 地域おこし協力隊の着任時からの起業支援

協力隊の早期の地元定着による起業を支援するため、これまで着任後2年以上務めた者を対象としていた起業支援補助金を着任1年目から支援の対象とします。

2,000 千円
地域振興課
(概要書135P)

連携・提携等による交流の深化

新規 新港郷友好クラブツアーの開催

飛騨市と新港郷の友好クラブによる積立て型のツアーを開催し、市が広告料等を支援することで、新港郷での会員相互の交流を推進します。

180 千円
総合政策課
(概要書136P)

新規 新港郷鉄道公園20周年記念事業への出展

新港郷で開催される鉄道公園20周年記念事業に、市や友好クラブ会員等で参加し、獅子舞等の伝統文化披露等を行うことで、交流の深化を図ります。

1,775 千円
総合政策課
(概要書136P)

新規 イベント等における新港郷紹介PRと特産品販売	
飛騨市と新港郷の特産品を相互に郵送し、お互いが地域イベント等で代理販売することで、相互の文化や特産品の魅力PRに繋がります。	60 千円 総合政策課 (概要書136P)
拡充 新港郷との学生交流補助金の中学生等への拡大	
高校生の新港郷ホームステイにかかる渡航費用等の支援額を7万円に拡大するとともに、友好クラブツアーに参加する小中高校生の渡航費用等も新たに支援します。	1,400 千円 総合政策課 (概要書136P)
拡充 連携協定大学の学生による市内での自主研究活動支援	
連携協定大学の学生が企画実施する自主ゼミ活動支援について、活用日数の要件を緩和するとともに、参加学生1人1泊あたり3千円の加算補助を創設します。	490 千円 地域振興課 (概要書137P)



学ぶ楽しさに溢れたまちづくり

生涯学び自分を磨くことができる環境をつくることは、既に人生100年時代を生きる私たちにとって、とても重要なファクターです。飛騨市に住めば一生涯を通して楽しく学ぶことができる。そんな「日本一学ぶ楽しさに溢れたまち」を目指し、生涯にわたって学べる環境を整備します。

楽しんで学べる仕組みづくりの推進

拡充 「飛騨市民カレッジ」の本開校	8,776 千円	生涯学習課	(概要書138P)
市民代表による運営委員や教育支援事業者を交えた運営体制の下、「日本一マジメに面白い市民大学講座」を目指し、本物の大学を模した遊び心あふれるカリキュラムの企画運営に取り組みます。			
また、これまで飛騨市ではなかなか接する機会が無かった著名人等による公開講座、飛騨・世界生活文化センターや大学・専門家と連携したアカデミックな講座を開催するとともに、既存の公民館講座・自主講座を始め市のさまざまな政策事業との補完・連携を図ることで、幅広い分野にわたる深い学びの機会を提供します。			

文化芸術に触れる環境整備の推進

新規 飛騨市美術館空調設備等の大規模改修	9,700 千円	文化振興課	(概要書139P)
空調設備の全面的な更新を中心に、館内導線の見直しや研修室を市民ギャラリーとして利用するための模様替えを含む大規模修繕の実施設計を行います。			
継続 飛騨河合音楽コンクール受賞記念巡回リサイタルの開催	4,860 千円	河合振興事務所	—
飛騨河合音楽コンクールの魅力アップのため、コンクール受賞者の記念リサイタルを飛騨市文化交流センター小ホールと河合小学校で開催します。			

子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち

コロナ禍に対応した教育環境の強化

教育する側の視点から学ぶ側である子どもたちの視点に目先を変え、真に子どもたちが喜ぶこと、嬉しいと思うことを追求し、子どもたちが安心して楽しく学び好奇心を満たすことができる環境を整備します。

コロナ禍でも子ども達が楽しく安心して学べる環境の整備

継続 ふるさと納税を財源とした「ありがとう給食の日」の実施	10,000 千円	教育総務課	(概要書140P)
地元産品や果物等を使用したメニューを提供する「ありがとう給食の日」を実施するとともに、生産者による食材づくりやこだわりを学ぶ「ふるさと学校給食」を実施します。			
新規 元オリンピック等との触れ合いによる子ども達の体力づくりと指導者育成	600 千円	スポーツ振興課	(概要書140P)
元オリンピック等のトップアスリートを招へいし、小中学生や保護者、指導者と触れ合う機会を創出することで、スポーツの魅力を伝えると同時に、指導者育成を図ります。			
継続 中学校部活動の充実支援	2,000 千円	学校教育課	(概要書140P)
部活動で使用する共用備品の計画的な更新を図り、子どもたちが不安なく部活動に打ち込める環境を整備します。			
新規 ICTを活用した授業づくりのための支援員の配置	2,391 千円	学校教育課	(概要書141P)
一人一台タブレット等のICTを活用した授業づくりの更なる推進のため、ICTの見識が深い教員を「ICT支援員」として配置し、教員対象の研修を行います。			

拡充 すべての理科室と小3普通教室にICT環境を整備	
小中学校の理科室と小学校3年生の普通教室に電子黒板・授業用PCを整備し、デジタル教材（教科書）やタブレット端末と併せて活用できる環境を整えます。	29,090 千円 学校教育課 (概要書141P)

拡充 飛騨市スタディーサポーターの増員による支援体制の強化	
古川中校区に3名（1名増員）、神岡中校区に1名のサポーターを配置し、不登校・不登校傾向にある児童生徒への個別の学習支援を行います。	8,619 千円 学校教育課 (概要書143P)

新規 学びたい意欲がある児童生徒の学習環境の向上	
千代の松原公民館内の教育相談室「グリーンルーム」の空調設備を整備し、同所で学ぶ児童生徒の教育環境の向上を図ります。	786 千円 学校教育課 (概要書142P)

新規 神岡小学校の大規模改修	
神岡小学校の外壁クラックやコンクリート片の剥離、塗装に含まれるアスベストの撤去を目的として、外壁改修を中心とした整備を令和3年度からの2か年で実施します。	140,200 千円 教育総務課 (概要書144P)

飛騨市ならではの学習の推進

新規 飛騨市学園構想の推進に向けた研修会の開催	
飛騨市学園構想ビジョンの理解やカリキュラム編成・実施に向けた教職員のスキルアップと市民への理解促進を目的とした研修会を実施します。	195 千円 学校教育課 (概要書145P)

新規 スポーツに特化した新たな学童保育の推進	
高校や大学、スポーツ用品メーカー等と連携し、神岡地区をモデルに、これまでの学習を主とした学童保育にスポーツ要素を加え、子ども達の体力づくりを促進します。	1,900 千円 スポーツ振興課 (概要書146P)

新規 ミトマト名人による生育観察から収穫までの食育の実施	
市内の園児を対象に、ミトマトの苗を植えるところから収穫までの体験を通じて、自然の力に触れ、豊かな心を育む取り組みを行います。	22 千円 農業振興課 (概要書147P)

新規 食育のための農業体験を実施する団体への支援	
子ども達に農業の大変さや収穫の喜びを感じてもらう機会を提供する団体に対し、活動経費の一部を支援することで、多世代間交流による食育を推進します。	225 千円 農業振興課 (概要書147P)

豊かな環境と個性ある地域資源を大切に誇り高いまち

文化・歴史資源等をまちづくりに繋げる仕組みづくり

これまで行ってきた文化財や自然資源、歴史資源等の掘り起こしや調査・研究から得られた成果を、今後は、地域や外部人材等との連携によるまちづくり活動につなげることで、更なる市民の誇りを醸成します。

文化・歴史資源の活用推進

拡充 石棒クラブによるコアファンの獲得と魅力発信	
石棒の3Dデータ化体験会や、土偶女子として著名な方を招いたバックヤードツアーを開催し、コアな石棒ファンの獲得と考古民俗館の魅力発信に取り組みます。	289 千円 文化振興課 (概要書148P)

拡充 飛騨の糸引き工女の史実研究のPRと観光コンテンツ化	
史実研究の集大成である成果報告会を開催するとともに、市内で撮影された養蚕・製糸産業ドキュメンタリー映画上映会、まち歩きツアーや糸引き体験を開催します。	925 千円 文化振興課 (概要書149P)

拡充 山城イベントや説明サイン等の設置	
姉小路氏関連山城の国史跡指定に向けた調査報告書の作成を進めるとともに、山城イベントの開催や誰もが自由に訪れていただけるよう案内看板の整備を行います。	3,223 千円 文化振興課 (概要書150P)

新規 止利伝説の調査研究と企画展準備	
止利伝説と飛騨の匠の歴史を紐解き、広く伝える企画展の令和4年度の開催を目指し、準備のための情報収集や調査、市民講座やガイドツアーを実施します。	1,100 千円 河合振興事務所 (概要書151P)

新規 河合地歌舞伎の舞台整備の支援	
伝承活動が継続できるように練習会場を公演可能な環境にするため、保存会が実施する舞台整備（定式幕の設置）費用の一部を支援します。	400 千円 河合振興事務所 (概要書152P)



地域資源を活かしたまちづくり

新規 天生県立自然公園のサイン整備	
令和2年度に策定したサイン計画に基づき、地域産の素材を活用し自然の景観との調和に配慮したサインを令和3年度から2か年で整備します。	6,000 千円 河合振興事務所 (概要書153P)

新規 RMTBの新たな体験コンテンツ創設のための整備	
未活用となっている旧鉾山前駅～二ツ屋間の船津トンネルの修繕工事を実施し、2つの既設コースを運営しながら、鉄道車両運転体験が実施できる環境を整えます。	6,653 千円 神岡振興事務所 (概要書154P)

拡充 ハイパーカミオカンデ（HK）計画のPR促進と国要望活動	
国等への要望活動を継続実施するとともに、市民啓発講演会の開催や、市内運送業者の長距離トラックを活用した、HK計画をPRするラッピングを実施します。	1,757 千円 神岡振興事務所 (概要書155P)

新規 鉾山資料館のリニューアルに向けた予備調査の実施	
鉾山資料館の躯体や展示内容等が老朽化していることなどから、今後の活用のための過去の耐震診断の修正を行うとともに、補強改修計画の策定を実施します。	1,892 千円 神岡振興事務所 (概要書156P)

拡充 ドローン制作体験会等によるドローン活用の普及推進	
ドローン飛行体験会の対象を拡充するとともに、新たにドローン制作体験会を開催し、市民にドローンに触れて親しんでもらう機会を創出します。	330 千円 地域振興課 (概要書157P)

拡充 ドローンを活用した各分野での展開（防災・農林・建設等）	
空撮による市のPR動画の製作や農業分野でのドローン活用講習会など、様々な分野でのドローン活用を直に見ていただく実証デモ会を実施します。	0 千円 地域振興課 (概要書157P)

豊かな自然と水を守り後世に引き継ぐ仕組みづくり

下水道網の完備や環境に配慮したエネルギー産業の推進、ゴミの減量化などの取り組みを着実に実行することで、飛騨市の93%を占める豊かな森林や、その森林が生み出すミネラル豊富な水、そして水が育む動植物を大切に守り、後世に引き継ぐ仕組みの構築を推進します。

ゴミの減量化と環境への配慮

拡充 24時間資源ごみ回収ボックスの増設	
既に各町に設置済みの4基に加え、古川町（袈裟丸公民館付近）及び神岡町（旧山田保育園付近）に、24時間資源ごみ回収ボックスを増設します。	4,363 千円 環境課 (概要書158P)

継続 ごみ減量化とリサイクルの推進	
企業や市民との協働により、衣類リサイクルや生ごみ減量化を促進するとともに、3ヶ月ごとに各地域に出張して回収を行う「お出かけリサイクルセンター」を実施します。	790 千円 環境課 —

新規 野焼き対策の強化	
野焼き行為が行われる5～11月の間、特に苦情が多い古川・神岡地区についてシルバー人材センターと連携した定期パトロールによる注意喚起を行います。	350 千円 環境課 (概要書159P)



令和3年2月

飛騨市役所 企画部 総合政策課

☎ 0577-73-6558 (ダイヤル)

✉ sougouseisaku@city.hida.lg.jp



H I D A C I T Y

飛 騨 市